

# 植物研究雑誌

第三卷 第四號

大正十五年四月三十日  
發行所 東京 津村研究所

## ○東京植物同好會

牧野富太郎

東京ニ「東京植物同好會」ノ團體ガアツテ毎月一回日曜日ヲトシテ會員ガ山ヤ野ニ出デ手當リ次第ニ植物ヲ採集シテ其名稱ヲ尋ネ其話ヲ聽キテ各自ニ植物ノ知識ヲ殖ヤシ且ツ其趣味ヲ味ヒツ、アルノデアル、此會ハ今カラ凡十七八年モ前ニ起リ連續シテ今日ニ及ンデ居ル不肖ナガラ此會ノ創メカラ拙者ガ親シク會員ヲ指導スルコトヲ託セラレ幸ニ今日マデ大過ナク之レヲ勤メテ來タノデ回顧スレバ自分ハ何トナク喜バシイ氣ガシテナラナイ（東京ノ會ト兄弟同志ノ横濱植物會ガ横濱ニ在ツテ東京ノ會ヨリ前ニ創立セラレ拙者永ク其指導ノ任ニ當ッテ居ツタガ頃日ハ姑ク休會シテ居ルヤウナ有様デアル）

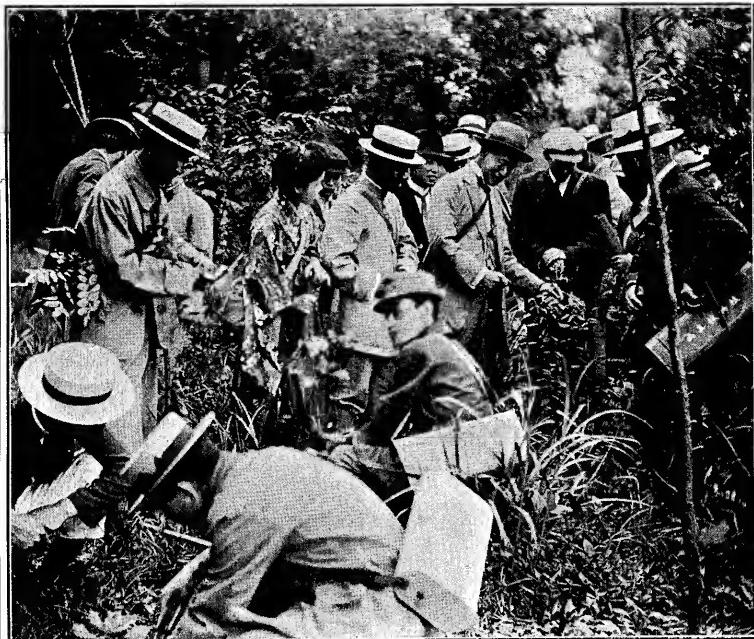
此様ニ年中毎月山野ニ採集ニ出デ實地ニ就テ無造作ニ草木ガ習ヘル會ハ只今ノ處恐ラク日本國中何處ニモ無ク其レハ獨此東京ノ植物同好會ノミガ其特色ヲ獨占シテ居ルト言ツテモ敢テ過言デハアルマイト信ズル、此會ハ此様ニ全ク類ノナイ珍ラシイ會デアルト同時ニ此會ハ又前述ノ通り十餘年モ障礙ナク連續シタ歴史ヲ持ッテ居ルカラ此後モ相變ラズ無事ニ續クコトデアラウト思フガ若シ萬一其指導者ガ無クナツタ曉ニハ其レハドウナルカ今日カラハ豫測ガ出來ナイ然シ此會ヲ指導スルコトノ出來ル人ハ將來ハイザ知ラズ今ノ處實際サウ世間ニ幾人モアリハシマイト思フ是レハ先づドンナ植物デモ山野デ出會フモノニ對シテ咄嗟ニ其名稱ガ分リ其話ガ出来ル知識經驗ヲ積ンダ人即チ考ヘテ置クノ、詮議シテ置クノ、又花ガ無イカラ分ラナイノ、實ガ無イカラ判然シ

ナイノト言ツテ其場ヲ逃レヌ人デナケレバナラヌノデ此ンナ資格ノ人ヲ見付ケ得ルコトハ甚ダ困難デアル、何ハトモアレ今日拙者ガ其任ニ當ツテ居ル間ハ多分不充分デアラウトハ思ヘドモ幸ニ之レヲ遂行シ得ルコトが出来ツ、アルノハ會ノ爲メ誠ニ幸ト謂ハネバナルマイ拙者ハ謂ユル學者顔ヲシテ勿體ぶるノハ誠ニ嫌イデ我ガ識ツテ居ルコトハ何ンデモ否マズニホイ來タトサツサト教ヘテ遣リ我ガ知識ヲ他人ニ頗ツコトハ何ノ屁トモ思ツテ居ナイ時々ハ他人ノ爲メニ様ノ下ノ力持チマデ勤メテ一向ニ平氣ダ（馬鹿カモ知レンネ、多分サウダラウト其處ラアタリデ誰カバ耳語テ居ルヤウナ氣モスルネ）此ンナ型ノ人ハメツタニ世間ニハアルマイト自分ニモウス惚テ居ル、ハハハハ、偶マ現代ニ此ンナ人ガ居ツタノデ會ノ爲メニハ大變ナ幸デ畢竟會ガ十餘年モ續イテ居ルノハーツニハ此ンナ馬鹿先生ガアツタカラデアル此馬鹿先生モ段々年ヲ取フテ今年六十五歳ニナツタカラモ一先キガ見エテ居ル其レ故拙者ガ會ニ居ル間ニ世人ハ早ク此會ニ集リ來ツテ一面ニハ植物知識ノ收得ニ努メラレ又一面ニハ植物趣味ノ向上ヲ圖ラレンコトヲ希望スル、拙者ガ死ンダラ植物ノ名前ヲ聽クニモ今日ノ様ニサウ容易ニハ行カナイ世間ノ學者ハナカナカ拙者ノ様ニソレ來タホイ來タト而倒ガラズニサウ簡單ニハ教ヘテ吳レシヨ此ンナコトハ拙者ガ生キテ居ル内ハ人々誰モ氣ガ付クマイガ拙者ガ死ンダラ其不自由サガ始テ分ルヨ「牧野先生ガ生キテ居レバナ」トノ嘆聲ヲ發スル時ガキット今ニ來ルカラマ一見テ居テ御覽ナサイ教育上デモ學問上デモ又普通デモ實際コンナ有用ナ會ハ世間ニ澤山出來ナケレバナラナイ譯ダノニ少シモ其レガ生レナイノハ畢竟其レヲ指導スル人ガ無イカラデアル、今日デハ學校ノ博物ノ先生デサヘモ平素時々學生ヲ連レテ校門ヲ出デ野ニ山ニ實地ニ其レヲ指導スルコトガ出來ナイコトガ普通デハナイカ一生身ヲ教育ノ犠牲ニ供スト傲語シツ、アル先生デサヘモ此體タラクダ世間ニ普通ニ此ンナ會ノ實現シナインモ無理ハナイネ

### 東京植物同好會ノ宣言ト規約

▲ 山野並ニ田圃庭園等ノ植物ノ名稱ヲ知ラントスル人々ハ來レ

▲ 各種ノ植物ニ就テノ話ヲ聽カントスル人々



武州和田大村内近附社八宮大村ノ外野ノ物植集指導ノ光景

（東京植物同好會主催・東京植物研究會會長木原邦太郎撮影）

ハ來レ ▲植物ニ趣味ヲ持ツ人々又ハ深ク其趣味ヲ味ハントスル人々ハ來レ ▲藥用植物、有毒植物、工業用植物、食用植物、高山植物等ニ就テ知ラントスル人々ハ來レ ▲植物分類上ノ知識ヲ得ントスル人々ハ來レ

本會ハ右ノ目的ヲ達セントシテ明治四十二年ニ起リシ會デアルガ此ノ如キ便利ナル會ハ我兄弟分ナル横濱植物會ト坂神植物同好會トヲ除イテハ恐ラク日本國中他ニ一つモアルマイト思フ、志アル諸君ハ素人デモ學問シツ、アル人デモ大ニ本會ヲ利用シテ其方面ノ知識ノ收得并ニ其趣味ノ向上ニ努メラレタシ又理科教育ヲ盛ンニセネバナラヌ今日ノ時節ニ際シ會マ此ノ如キ會ノアルノハ教育者ニ取ッテ或ハ一ツノ強ミデアル何トナレバ此會へ來ル人々ハ容易ニ植物ノ名稱モ覺ユレバ各植物ノ知識モ出來ルシ尙其上ニ其趣味ヲモ感ズルニ至ルベキカラデアル即チ教育上必要ナル植物上ノ事柄ヲ簡易ニ習得スルヲ得ルカラデアル、左ニ規約ヲ紹介スル

## ● 東京植物同好會規約

(一) 本會ハ植物種類ノ名稱ヲ知リ且一般植物ノ智識ヲ廣メ併セテ之レガ趣味ヲ喚起助長セシムル目的デス  
月、一月、二月ハ室内講義  
緑リ代ヘル場合モアル  
 本會ハ本會ノ目的ヲ達セんガ爲メニ毎月一回第二ノ日曜日(若シ差支アル時ハ日ヲ緑リ替ヘルコトガアル)ニ野外探集會ヲ行ヒマス(但ジ十ニ会ヨリノ通)  
 (三) 本會々員ハ維持費トシテ一ヶ年金貳圓(緑リ二期ニ分チテ)納付シテ下サイ  
 (四) 會ヨリノ通知ヲ受ケテ野外探集會ニ參集セル會員ハ當日ノ會費トシテ銘々ニ金五十錢ヲ其日ニ幹事ニ納メテ下サイ、但シ缺席シタ場合ニハ會費金十錢ヲ會ヘ納メネバナラナイ、然シ遠方ニ移住シ自然參集不能トナリ爲メニ會ヨリ通知ヲ發セヌ會員ハ此限りナイ  
 (五) 男デモ女デモ老人デモ小兒デモ誰レデモ會員ニナリタイ希望ノ方ハ自分ノ住所姓名ヲ明記シテ本會ノ事務所ヘ申込ミ下サイ、入會後ハ會毎ニ探集會ノ通知ヲ幹事カラ差出シマス

(六) 本會ニハ會長一名、幹事三名ノ役員ガ置テアリマス

(七) 會長ハ衆望ノ歸スル人ヲ選ビ別ニ任期ヲ定メ

(八) 維持會費ヲ納付セズニ無斷缺席二回ニ瓦ル時ハ會カラノ通知ヲ停止スルコトモアリマス

(附記) 野外採集ニハ東京帝國大學理學部講師牧野富太郎氏ガ指導ノ任ニ當ツテ居ラル、  
 (希望) 若シモ女子ノ會員ガ澤山出來タ時ハ男子ト離シテ別ニ女同士ノ會ヲ拝ヘル考ヘデアル  
 本會事務所ハ當分、東京府、荏原郡、駒澤村、上馬引澤、四十六番地、伊吹高峻(電話世田谷六十一番谷)方ニ置ク

東京植物同好會(會費一人に付き一回五十錢)に於ける野外探集の途上にて

とみたらう

撰り採つた五十の草木五十錢一つの價たつた一錢

百揃れば一つの價五厘なり天下これほど廉きものなし  
 諸物價の高いのに似ず廉賣りの店を平氣で出だす牧野屋

頭腦の中仕入れの草木數知れず幾ら賣つても品切れはせず